

大阪・関西万博開催に向けた意見

御所属 弁護士（シティライツ法律事務所）御名前 水野 祐

1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

（是非すべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等）

- 歴史上、例を見ない（他国が経験したことのない）急速な少子高齢化を迎える文明国による、社会システム（法・ルール、社会保障など）とマインドセット（新しい信頼、社会契約など）を維新する挑戦と、そのビジョンを世界に散種するためのチャンスと捉える姿勢を期待します。
- 2025年の時点において、中国やエストニア、ドバイなどですでに実現されているテクノロジーや、他国ですでに提唱されているビジョンを提示して世界を落胆させるのではなく、従来と異なる大胆なビジョンとそれを支える社会システムを実験的に導入することで、世界に新鮮な驚きと気づきを与えることを期待します。
- 今年、大阪で開催されるG20からの流れのなかで、SDGsを更新していくことを期待します。
 - SDGs達成の具体化（取組みや街全体）。
 - SDGsの先のビジョンと指標、それを支える社会システムの提示。
 - GDPや金融中心の資本主義ではない、より長期的な社会や環境の持続性と経済の両立する社会や豊かさの指標の提示。

2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

（例：最先端技術の実証、SDGs達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等）

- 個別のプロダクトのショーケースをコンテンツとするのではなく、超少子高齢化を前提とした日本型スマートシティや健康共創社会、ウェルビーイングのビジョンの具現化と、その具現化を支えるインフラや社会システムを、街におけるアクティビティその他、街全体で見せていくこと、そのようなビジョンやルール、指標を世界に向けて発信していくこと、を一番の目玉コンテンツとすべきと考えます。
 - 国家、組織など、従来の境界を前提とした仕組み（社会保障など）、ルール（法律、契約など）、そして、それを支えるマインドセットを、金融資本主義ではなく価値共創の観点から矯正・再構築する。
 - ◇ 中央集権的なアプローチではなく、非中央集権・分散的なアプローチを一部導入する。
 - ◇ 所有権、著作権、個人情報保護・プライバシー権など、現在の社会を構成する基礎的な権利や法概念を、排他的独占権から、広くアクセス可能性を高め、利活用・共有を促すための利用権（+収益が生じれば還元する報酬請求権的なアプローチ）へと転換する。

- ◇ 特に、データ駆動社会を支える個人情報・プライバシー領域については、EU の GDPR における「データポータビリティ」の議論を参照し (Interoperability を確保しつつ)、各情報をプライバシーの程度により精緻にグラデーション化したうえで、個人が保有する所有財として側面から共有財として側面を強調する。
 - ◇ 匿名化技術の進展に合わせて、いわゆる「情報銀行」や「データ台帳」などのプラットフォームの整備や、アグリゲーターの育成を進める。
 - 以上の流れを促進するための基本法、特別措置法などを整備する。
 - 国家戦略特区や「スーパーシティ」、規制のサンドボックス制度のみならず、万博という実験の場や SDGs のその先のビジョンを実現するためにふさわしい、規制の「最適化」を実現する適度な余白と弾力性のある規制・ルールを設計する。
 - ◇ AI、センシング技術の活用による移動・交通、宿泊などの最適化
 - ◇ 大胆な公民連携・PPP
 - 以上の社会システムのアップデートを実現するための研究者、技術者、実務家で構成される専門チームを組成し、具現化チームと併走させる。
- その他、個別のコンテンツとして、以下のものを期待しています。
 - ビジョンを具現化させる、選りすぐられた（大企業ではなく）スタートアップ企業、研究機関による最先端技術のショーケース
 - 島国として、分断されずに時代の変遷とともに蓄積されて存続しているという連続性のある歴史、伝統、文化を見せるデジタル・アーカイブ
 - マンガ・アニメ・コスプレなどのポップカルチャー
 - 言葉で言い尽くさず行間（言外の意）も含めたコンテキストを表現する非言語的感覚や共感覚、「余白」「間」を意図的な活用した表現
 - 和食や発酵食品などの豊かな食文化
- 3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見をお願いします。**
(例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等)
- 大阪万博の離散的なビジョンを具現化する、会場計画やインフラ整備を実現していただきたいですが、インフラ整備とその実現に不可欠な社会システムの再構築・提示は時間を要するため、コンテンツの議論と並行して、早期に議論を開始していただくことを期待します。
- 4. そのほか、御自由に御意見をお願いします。**